

令和 6 年度山形県立最上学園虐待防止委員会（概要）

○ 第三者の参画による、児童の安全安心を守る仕組みの導入

1. 最上学園虐待防止委員会の設置運営について

- ・ 令和 2 年の虐待事案を受け、第三者委員の参画による児童の安心安全を守る仕組みとして虐待防止委員会が設置された。
- ・ 令和 4 年度「社会福祉士」資格の外部委員を迎え、強化した委員会体制を継続。
- ・ 前回の委員会開催以降、要綱第 2（3）による「委員会を直ちに招集してその対処に対し指示、指導を仰ぐべき不適切支援の事案」は、発生していません。

2. 公認心理師による入所児童の心理的ケア実施状況

- ・ 新入所児はじめ昨年度よりも対象児童を増やすなどして、継続実施。
- ・ 心理師からの助言や情報交換を通じ、児童の成長に沿った支援につながっている。
- ・ 虐待案件の対象児を含め、面談を受けた児童全員が、精神的に落ち着き、安定した生活を送ることができている、との評価を得ている。

○ 危機管理(虐待防止)体制の整備(職員の意識改革の取組み含む)

3. 最上学園 児童支援における虐待防止宣誓書

- ・ 次年度も、宣誓項目を（セルフチェックと合うよう）見直した上、取組み継続します。

4-1. 児童虐待防止マニュアルの見直し状況について

- ・ 分かりやすく、より良いマニュアルとなるよう、マニュアルの見直しを実施。
- ・ マニュアルを活用した虐待防止研修会の実施。

4-2. 身体拘束等行動制限の適正化の取組みについて

- ・ 「適正化指針」に従い、所要の取組みを継続して実施。
- ・ 支援手法の見直しを通じて、行動制限の頻度が少なくなるなどの成果も得られている。今後も行動制限をせずに済む支援を目指し、取組を継続します。

4-3. 身体拘束等行動制限の実施状況について

(略)

5. 児童支援におけるセルフチェックについて

- ・ 日々のセルフチェックとグループでの振り返りを、チェック項目を見直しながら継続。各自の意識を高く保つとともに、良い支援手法や課題につき情報共有し、意見交換する機会となり、職員の支援力向上につながっている。
- ・ 庶務部門の職員のセルフチェックも継続して実施。

6. 倫理アンケートについて

- ・ 今年度から、これまでの年2回実施から、年1回に変更。アンケート設問の見直しを行い、選択しやすいように選択肢を増やして実施した。
- ・ 集計結果は全職員に報告。組織の課題やよりよい点を共有することで、虐待防止に向けた取組みの意識を向上させることや、支援のあり方の確認や気づきを促す契機となっている。
- ・ 倫理アンケートの結果から、セルフチェックでの日々の振り返りや職員同士の話し合いが定着し、職員の意識を高く保つことに成果が得られていることが伺える。

7. インシデント・ヒヤリハット報告について

- ・ 目の届かない場面での虐待防止と、児童が危険に及ぶ前の気づきに繋がるように、職員間の情報共有を図っている。
- ・ 昨年度に引き続き、報告事案について職員に速やかに周知するとともに、原因分析に努め、以後の対応策を考え、講じてきている。
- ・ 療育部門全体に関わり繰り返し起きている案件については、児童支援検討委員会を中心に検証し、対応策を考えて改善を図っている。

○ 風通しの良い組織運営の確保

8. 気づき、直ぐ改善活動について

- ・ 昨年度に引き続き、この取組みに従った不適切支援事案の報告はなかった。
- ・ 意識変化、相互の声かけ等を通じ、不適切支援が払拭されてきた結果と評価したい。
- ・ 不適切な支援を黙認しない意識づけのため本活動は存続しつつ、合わせて職員間の対話を引き続き促し、互いの支援にも意見が言いやすい環境・関係醸成に取り組む。

9. 実習生からの意見等について

- ・ 当園で実習された方から、通常の実習記録とは別に不適切支援再発防止の観点で、実習終了時にご意見をいただいている。
- ・ 「良くない支援と感じた場面」へのご意見が1件あり、職員間で共有し反省するとともに、今後の改善に努めている。

○ 職員に対する虐待防止研修の見直し(支援力向上の取組み含む)

10-1. 虐待防止関連の園内研修について

- ・ 今年度も虐待防止の専門家（大学教授）を招き、職員の支援力向上のため研修を実施。
- ・ 身体拘束による児童の心の痛み、児童を不安・不穏にさせない関わり方などを深く学び、考える機会となっており、また、日々の支援における迷いや困り感について専門家の視点から助言をいただいて、各児童により適する支援の実践につながっている。
- ・ 虐待防止に関する意識を高く維持し続けるため、また、スキルの維持向上のため、研修の継続は必要であり、来年度も同様の研修予算を要求している。

10-2. 学園職員が受講した研修内容について (略)

11. 支援のポイント事例集について

- ・ 各入所児の支援のポイントなどを随時参照できるよう取りまとめた事例集につき、園内での情報共有、対応検討の打合せ結果や、支援事例を踏まえながら、各児の成長や最近の動静、入退所の異動に即して見直し・時点修正・追加した。
- ・ 各事例の作成・分類について、事務軽減も視野に、見直しを行った。

○ その他

12. 虐待相談窓口について (略)